



健康づくり応援通信



健康づくり課 ☎ 21-0228

市公式 YouTube
体操などのコンテンツを視聴できます

マイコプラズマ肺炎に注意しましょう！

マイコプラズマ肺炎をご存じですか？

マイコプラズマ肺炎は「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。例年、患者として報告されるもののうち約80%は14歳以下ですが、成人の報告もみられます。今年は例年と比較して感染者が全国的に増加傾向にあります。

■流行時期：特に秋冬（1年を通じて感染はみられる）

■主な症状：かぜに似た初期症状

微熱程度の発熱、倦怠感、頭痛、
のどの痛み、鼻水、鼻づまり（幼児）
※全ての症状が出るとは限らない

3～5日後に…

乾いた咳が出て、長引く

風邪と
見分けるのが
難しい！

■感染経路：①飛沫感染（感染者の咳のしぶきを吸い込む）

②接触感染（感染者と接触したりすること）

■潜伏期間：2～3週間と比較的長い

■治療方法：抗菌薬での治療が基本です。重症化した場合には、入院して治療することもあります。

※咳が長引くなどの症状がある時には医療機関で診察を受けるようにしてください。

■予防と対策：①普段から流水と石鹸による手洗い

②感染した場合は、家族間でのタオルの共用は避ける

③咳症状がある場合にはマスクを着用するなど咳エチケット



インフルエンザ・新型
コロナウイルスの感染
予防にもなります。



成羽病院通信

成羽病院 ☎ 42-3111

地域連携室について

地域連携室 東 容子（社会福祉士）

皆さんは当院に相談員が配置されていることをご存じですか？

当院には「地域連携室」という部署があり、看護師1名、社会福祉士1名の2名が配置されています。

地域連携室は、患者様の介護サービスなどを利用できる体制の構築と、医療・介護・福祉の連携を強化することで、治療に関することから各種福祉制度の説明まで幅広く対応できるよう、外来および入院患者様の様々な相談業務を行っています。

「退院した後、家で生活に不安な事はないですか？」

「退院後に介護サービスが利用できるよう、ケアマネさんと調整させていただきますね。」

「介護保険制度や手続きについて教えてほしい。」

「入所施設について教えてほしい。」

これらは地域連携室から患者様へのお声がけや、相談を受けている内容の一例です。患者様が住み慣れた地域で安心して生活を送っていただけるよう、支援をさせていただきます。どんな相談事でも結構です。お気軽にお声がけください。

地域連携室の業務内容

- 入院、退院の患者支援
- 医療、福祉、介護などの相談
- 他医療機関からの転院支援
- 院内カンファレンス（退院支援に関する会議）の開催
- 地域の医療機関、施設、在宅サービス事業所、訪問看護ステーションなどとの連携
- 訪問診療、訪問看護の調整
- 外来・病棟スタッフとの連携
- 「連携通信なりわ」（年12回）、「成羽病院だより」（年4回）の発行 など



消防活動技術の向上、相互の協力体制の充実強化を図り、今後の火災現場に生かせる有意義な訓練となりました。

令和6年度消防署・消防団大規模林野火災合同訓練
11月23日、成羽運動公園多目的グラウンド付近を訓練会場として、消防本部、消防署、消防団による大規模林野火災合同訓練を実施しました。
今回の訓練では、大規模な林野火災が発生したとの想定により、消防本部、消防署、消防団が連携し高低差のある遠距離をホース延長し火元とする山中へ放水活動を行いました。



宝くじ助成事業で
消防資器材を整備



（二財）自治総合センターの宝くじ助成金を活用し、市消防団の消防資器材（パワーカッター・背負式水囊・スタンドパイプ・双口接手・無反動管鎗を整備しました。今回整備した消防資器材を火災や放水訓練で利用し、市民の安心・安全のため活用させていただきます。

高梁中央保育園と婦人防火クラブの全面協力

11月9日から15日まで秋の火災予防運動を行いました。高梁中央保育園・婦人防火クラブによる消防隊演奏を皮切りに、婦人防火クラブ

11月の火災・救急件数
火災 1件（前月より1件増）
救急 154件（前月より8件増）
消防本部予防課 ☎ 21-0121



直近20年間の中で最少を記録しており、予防活動の効果が数字に表れています。火災は防げる災害です。火の用心で年末年始を過ごしましょう。

はしれ！よしお

市長コラム 文/石田 芳生



私は日ごろから朝ランニングをしており、東京出張の際には皇居周辺を走るのを楽しみにしています。先日の出張の際には、ランニング途中でいつも見かけていた皇居三の丸に初めて入場し、幸運

にも高梁市ご出身で、皇居三の丸尚蔵館長の島谷弘幸さんにお目にかかることができました。また、高梁市成羽町出身の見島虎次郎画伯の出世作、「情けの庭」の実物も拝見することができ、充実した東京出張となりました。
広報たかはし12月号が皆さまに届くころは、まだ12月議会中で、58歳にして新人、執行部の一員として緊張の中で議事に臨んでいると思います。
引き続き市民の皆さまのために邁進してまいります。

初めまして、幸運